

神田川 「かぐや姫」

作詞、喜多條忠 作曲、南こうせつ

Am E7 Am
貴方は もう忘れたかしら
F G7 C E7

赤い手拭い マフラーにして

Am E7 Am
二人で行った 横丁の風呂屋
F G7 C E7

「一緒に出ようね」って 言ったのに

Am E7 Am
いつも 私が 待たされた
F G7 C E7

洗い髪が芯まで冷えて

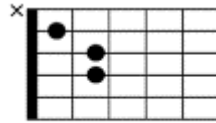
Am E7 Am
小さな石鹸 カタカタ鳴った
F G7 C

貴方は 私の身体(カタ)を抱いて

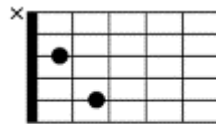
F G7 C
「冷たいね」って 言ったのよ
Am Em Am Em

若かったあの頃 何も怖くなかった

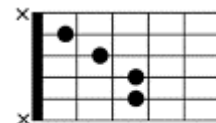
F G7 C Em7 G Am
ただ貴方のやさしさが 怖 かった



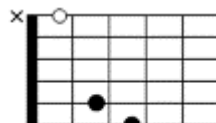
Am



E7



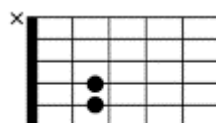
F



G7



C



Em



Em7

Am E7 Am
貴方は もう捨てたのかしら
F G7 C E7

二十四色の クレパス買って

Am E7 Am
貴方が描いた 私の似顔絵

F G7 C E7

「うまく描いてね」って 言ったのに

Am E7 Am
いつもちっとも 似てないの
F G7 C E7

窓の下には 神田川

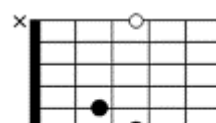
Am E7 Am
三畳一間の 小さな下宿
F G7 C

貴方は 私の指先見詰め

F G7 C
「悲しいかい」って 聞いたのよ
Am Em Am Em

若かったあの頃 何も怖くなかった

F G7 C Em7 G Am
ただ貴方のやさしさが 怖 かった



G